あしたの九州に、できること。
「もったいない」を「ありがとう」にフードロス削減の取り組み

令和4年度

フードバンク活動促進に向けた情報交換会　御中

「もったいない」を「ありがとう」へ
フードドライブにご協力ください

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

2022年11月11日（金）

イオン九州株式会社
社長室　エリア政策　古賀　健司

Ⅰ．イオン九州フードドライブ活動経緯

Ⅱ．苦労した事・良かった事
お客さま・その他関係者の反応

Ⅲ．残された課題

Ⅰ．イオン九州フードドライブ活動経緯

Ⅱ．苦労した事・良かった事
　　お客さま・その他関係者の反応

Ⅲ．残された課題

「もったいない」を「ありがとう」にフードロス削減の取り組み

2019年4月
福岡県との包括連携協定に基づき北九州3店舗でスタート。

↓

2021年9月
3店舗の反省を基に九州7県の基幹店舗（17店舗）拡大。

↓

2022年3月
福岡県GMS（総合スーパー）全店（25店舗）に拡大。

↓

2022年5月
福岡県SM（食品スーパー）含む、全54店舗に拡大。

↓

2022年9月
九州7県　GMS/SM　全182店舗に拡大

あしたの九州に、できること。

「もったいない」を「ありがとう」にフードロス削減の取り組み

2019年4月
福岡県との包括連携協定に基づき北九州3店舗でスタート。

2021年9月
3店舗の反省を基に九州7県の基幹店舗（17店舗）拡大。

お客さまの声

・寄付をしたいけど、
イオンまで遠くて大変。

近くのイオンでも実施
して頂けたら嬉しい。

社長方針抜粋
実施目的

・入り口はﾌｰﾄﾞﾛｽ削減、出口は福祉と言うﾌｰﾄﾞﾄﾞﾗｲﾌﾞ活動を契機に、従業員全員が一緒になって取り組みを行う風土つくりにつなげていく。

・小売業であるイオン九州の特性を生かし。事業系と家庭系の両面の取り組みを行う。

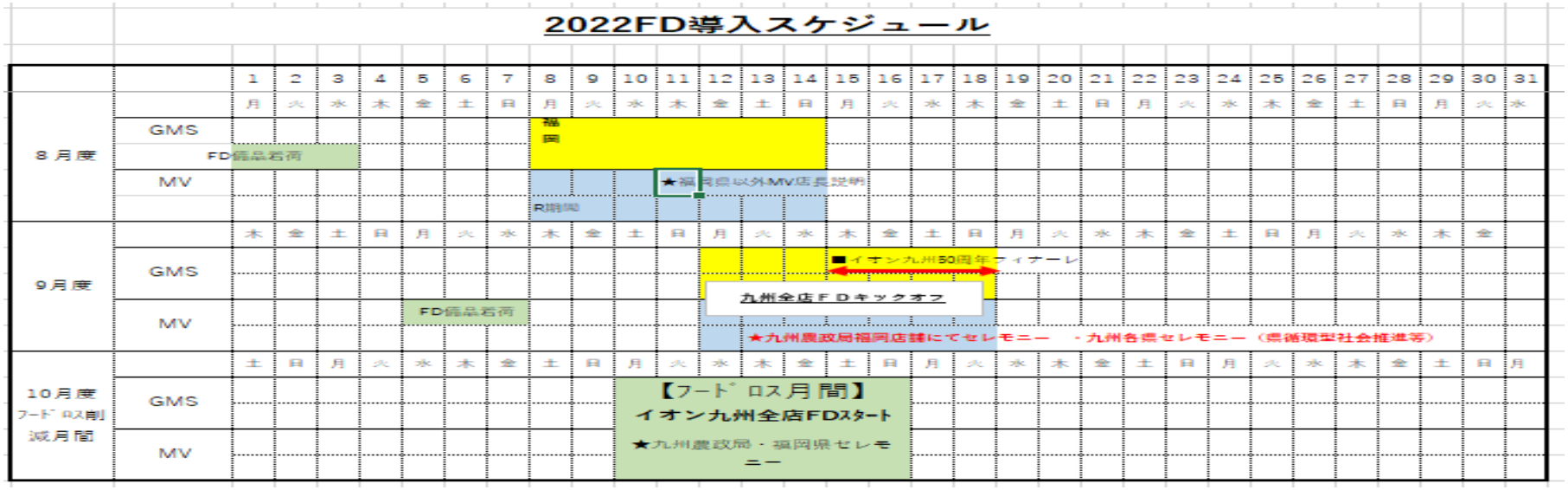
Ⅰ．イオン九州フードドライブ活動経緯

Ⅱ．苦労した事・良かった事
　　お客さま・その他関係者の反応

Ⅲ．残された課題。

あしたの九州に、できること。

「もったいない」を「ありがとう」にフードロス削減の取り組み



苦労した事①。

全従業員への取組説明と対応。

①全事業部長説明会

②事業部別スタッフ説明会

③店長説明会

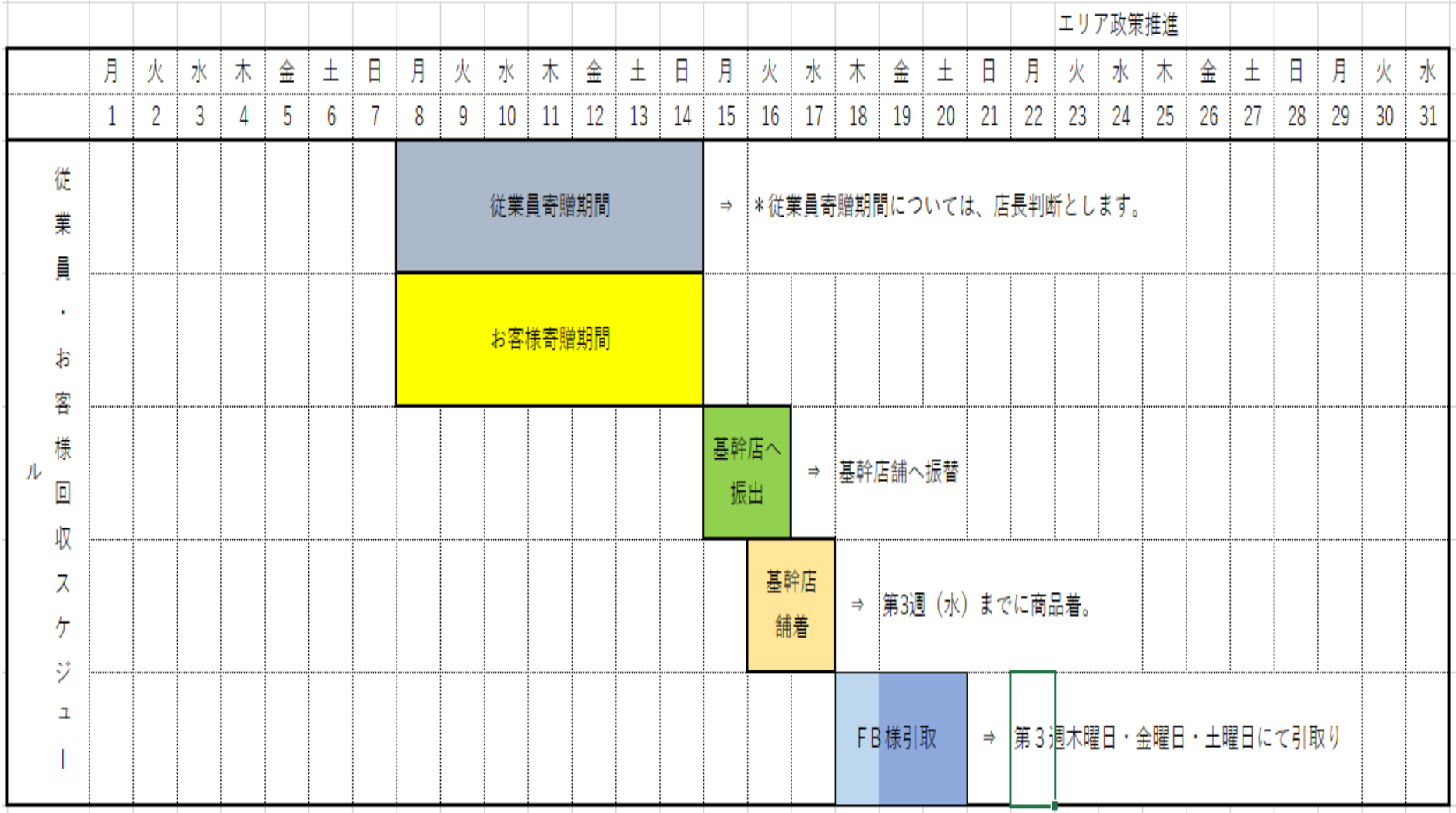
④実務担当者説明会

各段階での、説明会の実施により**現場（店舗）とのコミニケーション**を高める。

苦労した事②
ローコストオペレーションの実現
182店舗の集約
①基幹店舗に寄付商品を集約するために、
　イオン九州の物流網を活用化するか？

②基幹店舗への集約計画と基幹店舗での
　オペレーションの簡素化

回収フロー（2022年8月度の場合）



社内の情報共有サイトのトップページに専用フォルダを設置しフードドライブの取組の**見える化**。

イオン九州株式会社

最新重要情報

新型コロナ <報告もこちらから>	新コミュニケーションツール(ACT)	イオン九州 50周年	サステナまいにち	2022年働き方アンケート 8/21~9/3まで	物流	棚卸
表彰	デジタル販売実績	100年企業を目指す 意気込みや決意	トップバリュ 従業員サイト	フードドライブ実績	現場の声をきく	品質管理

良かったこと

▸従業員のモチベーションの向上。

・お客さまから「イオンは良い事をやってるね！」とお褒めの言葉を頂けた事

・九州全県でセレモニーを開催し、各県報道機関に取材を受け、多くのお客さまや従業員にフードバンク・フードドライブの活動を認知して頂けた事

あしたの九州に、できること。

「もったいない」を「ありがとう」にフードロス削減の取り組み

AEON

フードバンク別月度別重量実績推移

	8月		9月		10月		2022年度	累計
	重量	先月比	重量	先月比	重量	先月比		
フードバンク							3,992	6,108
フードバ							6,156	7,414
ふくおか							4,661	5,611
フードバ							859	859
フードバ							190	190
福岡県							57	20,181
フードバ							664	921
フードバ							378	378
佐賀県							1,042	1,299
フードバンク協和	210.1		440.3	209.6	421.7	95.8	1,703	2,067
長崎県	210.1		440.3	209.6	421.7	95.8	1,703	2,067
フードバンク大分	61.1		304.05	497.6	581.3	191.2	586	1,143
フードバンクnico								
フードバンク日田								
フードバンク挾間								
フードバンク別府								
フードバンク東九州								
フードバンク臼杵								
フードバンク								
大分県							586	1,143
フードバ							987	1,004
フードバ							418	1,531
宮崎県							405	2,535
フードバ							246	1,876
熊本県							246	1,876
フードバ							950	8,110
フードバンク奄美	12.7		23.3		14.1	60.5	132	242
鹿児島県	95.5		384.9	403.0	578.8	150.4	4,082	8,352
九州全県	2644.76	116.2	5,369.6	203.0	4,988.6	92.9	26,921	37,453

お客様からの寄付累計

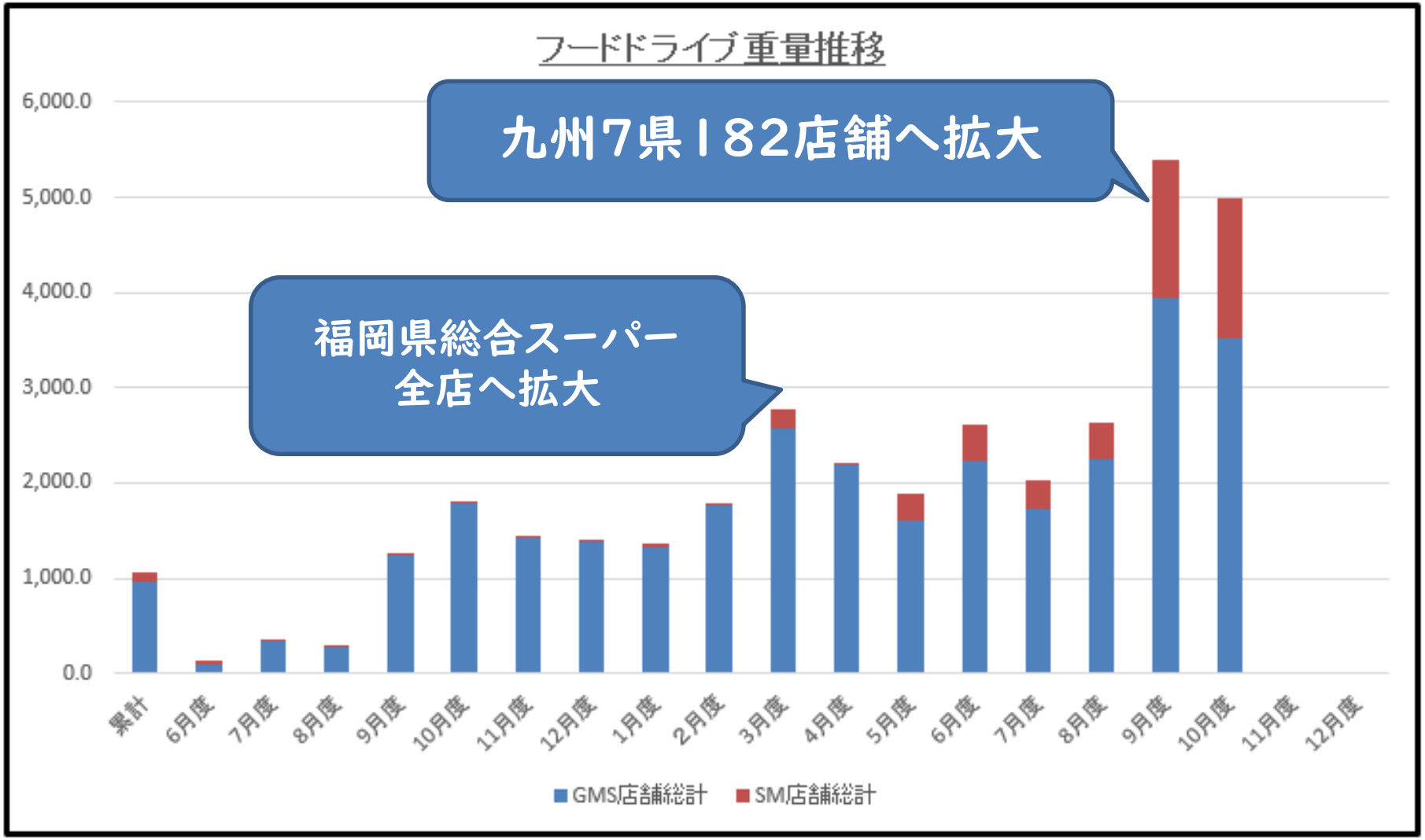
福岡県計 20トン

お客様からの寄付累計

イオン九州計 37トン

あしたの九州に、できること。

「もったいない」を「ありがとう」にフードロス削減の取り組み



Ⅰ．イオン九州フードドライブ活動経緯

Ⅱ．苦労した事・良かった事
　　お客さま・その他関係者の反応

Ⅲ．残された課題

①お客さまの寄付されたお品が何処に行っているのかのお尋ねが多い。
☞出来るだけ、頂いた地域に寄付する。

②フードバンクさまが無い地域では、遠方のフードバンク様まで取りに行かれている。

☞消費期限が短い為、ロスになることも。

☞店舗に寄付されたお品は、店舗の所在の地域にお返しをする。地産地消の推進

イオン九州

あしたの九州に、できること。

持続可能な社会をつくっていくこと。 生産者の方々が、新鮮なよろこびを、たくさん届けてくれること。
お客さまが、新しい発見いっぱいの暮らしを楽しんでいただけること。
そして、みんなが元気に働いて、大切な家族を守れること。

ひとつひとつを一生懸命お手伝いして、みなさまといっしょに、幸せなできごとを、もっとふやしていきます。
イオン九州は、来年50周年を迎えさせていただきます。
あしたの九州に、できること。これからもイオン九州に、どうぞご期待ください。

イオン九州は、
これまでも、これからも
九州の持続的な成長と暮らしの
豊かさに貢献していきます。

日々のいのちとくらしを、「夢のある未来」へ。

AEON

ご清聴ありがとうございました